

# 中国版

大阪支社  
 大阪市西区西本町  
 1-14-3 〒550-10005  
 TEL 06(6538)2601  
 FAX 06(6538)7603

## 生産性向上のため機器導入

### トータルテックオグマ(広島)

広島県の金物製作の時間短縮や効率化のためにパイプの曲げ加工機とえぐり加工機を導入した。

Rグレード  
 ファブ、トータルテックオグマ  
 (福山市南手城1-24) 15、尾熊哲雄社長  
 はこのほど、「エルコリーナベンダ」の仕事量の増加への対応を目的に、40ミまでの丸孔や長孔の加工、60ミまでのえぐり加工が可能で、「MB-42P」は鉄やアルミ、ステンレスのパイプの曲げ加工ができる。



導入したえぐり加工機

尾熊社長は「足元では県内の金物加工の注文が増え

ており、設備体制を再整備する必要が出てきた。老朽化した設備の更新や新たな

## ショット加工機を更新

### ビー・ビー・エー(岡山)

岡山県の梁加工をメインとするファブ、ビー・ビー・エー(岡山市北区建部、笹山欣也社長)はこのほど、H形鋼向けショットブラスト加工機を更新した。鉄工所から梁加工を受注する事業を行うなかで、塗装など下地処理の品質向上とスピードアップを図るため、ショットブラスト加工機の更新を行ったもの。

導入したのは寿海工業のショットブラスト機で、1000ミに対応。製品を置くローラーのピッチが200ミで小さな製品を置くことが可能で、処理後のブラストを回収し、1ミまで溜めることができるタンクがあるのが特徴。



ショットブラスト加工機を更新

笹山社長は「同業の仲間から頑丈で壊れにくいなどの評価が高く、従来の機械が老朽化して更新する必要があったのでリプレイスした。実際に壊れにくく、活躍している」と話す。

## 溶接の第一線で活躍

### 内田鉄工建設(広島) 山田厚子さん

近年、建設業に従事する女性が増えているが、数十年も溶接の第一線で活躍する女性が広島にいる。内田鉄工建設(神石郡神石高原町、内田智久社長)で働く山田厚子さんは現在74歳。

28歳の時、夫と二人で鉄工所を営んでいた折に溶接技術を身につけた。しかし、夫の死去に伴い会社を閉め、生活のため働くことになった時、支えとなったのが溶接技術だった。



第一線で活躍する山田さん

14年前に同社社員となり、溶接工として働く。以前はもつとたくさんあったという溶接資格も、現在3Fの資格だけを更新。内田健治専務は「製作のなかで、女性ならではの視点で気付くことがあり、溶接以外でも助けられている」と話す。



今期から加入した女性2名を紹介した。これまで男性のみだった同会に、新たに女性が加わったことで、男女と



●女性2名が入会/広島県鉄構工業会・青年部会(部会長 船山聖喜・三和鉄構建設工場長)は、このほど開催した通常総会で、

もに技術向上に努める同青年部の活動に期待が集まる。新会員は、反田工業の反田葉月さん(写真右)と吉國鐵工の渡邊愛佳さん(写真左)。席上、あいさつに立ち、反田さんは「入社して1年しか経っておらずわからないことが多いが、これからたくさんの方を学んでいきたい」と述べ、渡邊さんは「社内業務が多く、社外の仕事が少ないが、交流を通してさまざまなことを学びたい」と述べた。